

地方創生推進交付金事業の検証結果(平成28年度)について

交付金対象事業の名称		事業概要					
地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト (久留米広域連携中枢都市圏4市2町での広域連携事業)		久留米広域連携中枢都市圏として、「しごと」の創生、雇用の創出に取り組み、将来の移住定住へとつなげていく事業を展開する。					
事業開始	事業終了	観光の「稼げる産業化」を促進していくため、関係市町の観光資源の磨き上げを行っていくとともに、一体となった観光商品化、広域周遊ルートなどのパッケージ化等を推進する。また、全国から多くの人が集う首都圏に、常設型のアンテナショップを設置し、首都圏での圏域の魅力の売り込みを行い、観光客の獲得はもちろんのこと将来の移住の実現へ結びつけていく。同時にアンテナショップの物販機能を生かし、地場産業へフィールドバックすることにより、売れるものづくりを推進する。					
平成28年4月	平成33年3月						
実施内容	大川市事業費 (うち交付金額)	重要業績評価指標(KPI)				大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会からの意見・提案	今後の方針
		指標	基準値 (H26年度)	目標値 (H32年度)	H28実績値		
≪インテリア産業販売促進戦略構築事業≫ 実施主体:(一財)大川インテリア振興センターへの補助 全国の一般消費者への販売へ向けた取組み、全国からのニーズに対応できる受注体制の構築、セレクトショップや有名企業とのタイアップによる商品開発と営業の展開(「大川のヒキダシ展」の開催)。和のインテリア空間を、海外市場の富裕層をターゲットとして販路開拓(グラミー賞会場での組み立て式茶室の展示)。	75,000,000 (37,500,000)	圏域における観光 入込客数(千人)	8,714	10,500	9,162	・CM放送だけでなく、全国放送の中継場所(天気予報など)として取り上げてもらえるよう働きかけを。	振興センターでの販売体制を構築する必要があるため、地域商社的な役割を果たす組織になるよう、随時協議し、継続的な事業推進が必要である。
		圏域における直接 消費額(百万円)	16,621	20,000	17,220		
≪アンテナショップを活用したシティセールス事業≫ 子育て支援PR及び大川テラツツァオープニングCM放映、テレビ・ラジオ等での「大川木工まつり」PR、山手線の車内全面を使ったPR「ADトレイン」、「職人MADE大川家具」のロゴを使用したプロモーショングッズによるPR、レストラン・式場「八芳園」(東京都白金台)や東京都庁でのPRイベントの開催、「春の大川木工まつりinJR博多シティ」の開催ほか	46,325,700 (20,819,250)	圏域人口(人)	461,401	461,401	460,852	イベント出展やPR広告等により、大川市及び大川家具の認知度を高めるとともに、発信方法を工夫し、費用対効果を高める。	